



消費者から信頼される米産地確立を誓った生産者大会

8/12

## 信頼される 米産地確立へ 一関地方良質米 生産協議会

令和7年度いわて平泉米生産者大会を開き、米の生育状況や米穀情勢について報告し、消費者から信頼される米産地確立に向け意識統一を図りました。佐藤一則組合長は「米の適正価格実現のために集荷目標達成に向けて協力をお願いする」と呼び掛けました。



挙手で決議する参加者

7/17

## 組織の課題解決に向けて JA集落営農組織連絡協議会

第11回通常総会を開きました。令和6年度は、2つの農事組合法人が設立されました。令和7年度は、1組織の法人化が計画されている他、各組織が抱える問題解決に取り組むことを決定。新協議会長には、(農)道の郷シンフォニーの柿田堅さんが選任されました。

7/23

## リンドウなど全国へ発送 一関ふるさと便実行委員会



ふるさと便の商品をPRする関係者

一関ふるさと便「夏の便」の出発式を開き、ふるさとの味と香りが全国へ無事届くことを願いました。一関ふるさと便は、今年で39年目。期間中は、一関地域で生産されたリンドウやりんごジュース、とまとジュースが全国へ向けて発送されました。



サイレージに文字を記す部会員

7/16

## 牛乳の消費拡大呼び掛け JA酪農部会

「今日も一日交通安全！牛乳飲んで毎日元気！」。一関市東台の放牧地に設置したラップサイレージに牛乳の消費拡大と交通安全の願いを込めたメッセージを描きました。



藤野さん㊟の説明を聞く生徒

7/22

## 現場の声を進路に生かす 千厩高等学校

生産技術科生産科学コースの2年生23人は、農家見学学習を行いました。小菊農家の藤野寿美さん(千厩)の圃場で、作業や流通などについて説明を受け、理解を深めました。



圃場を観察しながら意見交換する参加者

7/25

## JAの垣根超え交流深め JA果樹部会

JAいわて花巻果樹部会と合同で、若手生産者視察交流会を開きました。リンゴや桃の園地3カ所を会場に栽培技術や経営について情報交換し、交流を深めました。



ミニトマトクイズに挑戦する参加児童

8/8

## ミニトマトクイズに挑戦

第3回わくわく純情プランターを開きました。参加した小学生は、各家庭で育てているミニトマトの生育指導を受けた他、ミニトマトに関する〇×方式のクイズ10問に挑戦。「国産国産」の考えも紹介され、JAへの理解を深めるイベントとなりました。



調理実演を行うきじまりゅうたさん<sup>㊤</sup>と参加児童

8/8

## 地元食材の魅力を知らう！

「家の光クッキングフェスタ」を開き、小学生や保護者、女性部員など約140人が参加しました。料理研究家のきじまりゅうたさんが、JA特産の夏秋野菜やいわて南牛肉を使ったレシピを考案。調理実演や講演を行い、食材の魅力について理解を深めました。



表彰を受ける大木さん<sup>㊤</sup>

第48回縄文の炎藤沢野焼祭が行われました。市内外から642点の作品が出品され、JA組合長賞には大木義則さん（宮城県栗原市）の「混沌の縄文」が輝きました。

8/10

## JA組合長賞に大木さん 藤沢野焼祭実行委員会



トウモロコシを収穫する児童

8/6

## 甘いトウモロコシを収穫 JA青年部協議会

児童養護施設「二関藤の園」の子どもたちを芦農園（大東）に招き、トウモロコシの収穫体験を行いました。収穫方法やおいしい食べ方を聞きながら、一生懸命収穫しました。



計測をする出荷牛

8/2

## 千葉さんの去勢牛名誉賞 いわて南牛振興協会

第17回いわて南牛枝肉共励会を東京食肉市場で開き、最高賞の名誉賞には、千葉大さん（藤沢）の去勢牛が輝きました。36頭が出品され、上物率は100%となりました。



全国大会での活躍を願い激励

8/14

## 全国大会での活躍を期待

第56回全国中学校サッカー大会に出場する千厩FCに金一封などを贈りました。千厩FCは千厩中サッカー部が母体のサッカーのクラブチーム。今後の活躍も期待されます。



児童にもぎ取り方を指導

8/20

## エダマメもぎを出前授業 JA女性部平泉中央支部

部員2人が平泉小学校に出向き、3年生にエダマメもぎの出前授業を行いました。長島小学校（平泉）にもエダマメを提供し、両校とも給食でおいしく味わいました。



寄せ植えを楽しむ部員

7/23

## 彩り考えて寄せ植え作り JA女性部一関中央支部

全部員研修会として花の寄せ植え講習会を開きました。部員35人が参加し、植木鉢や花苗を選び、彩りやバランスを考えながら思い思いに寄せ植えを楽しみました。